



9月7・8日に開催される「2013北海道・東北 B-1 グランプリin十和田」の情報をお届けします♪

**愛Bリーグ北海道・東北支部、北海道・東北 B-1 グランプリin十和田に向けて集結**

3月2日、愛Bリーグ（ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会）北海道・東北支部会議が十和田シティホテルで開催され、八戸せんべい汁研究所など20団体が参加しました。

会議では、北海道・東北B-1グランプリin十和田に向けて事務局が概要を説明し、協力して取り組むことで決意を新たにしました。



各団体が平成24年度の活動報告を行いました

**ボランティアスタッフ募集**

「2013北海道・東北B-1グランプリin十和田」のボランティアスタッフを募集します。

「地域を元気にしたい」、「訪れる多くの人たちに十和田流のおもてなしを感じてもらいたい」と思っているかたはどなたでも！

とき 9月7日(土)・8日(日) 8:30~16:30

対象 高校生以上のかた

※高校生は、保護者または学校の承諾が必要です。

内容 出展団体補助、会場案内、交通誘導、清掃など（ユニフォーム、昼食支給）

受付期間

4月1日(月)~6月28日(金)

(平日 9:00~17:00)

〒同実行委員会事務局（十和田商工会館4階） ☎241635



一緒に十和田を盛り上げましょう！

**とわだの文化財 7** ~十和田市の文化財を紹介するコーナーです 閩スポーツ・生涯学習課 ☎2313

十和田市指定文化財

「庚申塔」  
 「二十三夜塔」

市内随所に見られる石塔は、集落の辻、村境、寺社境内などに伊勢参宮記念として三社伊養塔（天照大御神・八幡大社・春日大社など）と並立され建立されることが多い。



柏木集落（大不動）



川原集落（滝沢）

庚申信仰とは、庚申（六十日周期で巡る干支の暦用語）の夜、人が眠ると、体内に宿る三匹の尸虫（道教に由来する体内にいる虫）が昇天し、宿主の罪業を天帝に告げ命を縮めるので、それを防ぐために不眠の行をしたという中国伝来の道教に基づく習俗である。各集落は講（同一の信仰を持つ人々による結社）を組織し、三年十八回の供養を続けた記念に「庚申塔」を建てたと伝えられる。

本尊は、猿田彦命・青面金剛とされ、信仰内容の起源は厄除けであったが、時勢とともに無病息災、家内安全、豊穰などの祈願や道祖神、観音の一般信仰と同化して本来の信仰の実質は失われていく。市内に三十基以上確認できるが単独で祀る行事は今はない。

一方、二十三夜信仰とは、主に旧暦正月、五月、九月の二十三夜月を拝し、読経しながら身の穢れを祓う宗教儀礼が起源とされる。後には、講宿にて月の態様を観て、豊凶を占い、豊穰を願う行事に変容して最近まで継承され、供養の証として「二十三夜塔」が建立された。

本尊は、月読命・勢至菩薩とされるが、庚申信仰と同様に他信仰と融合して辛うじて伝え残されているのが通例である。本市には百基余り現存するが、今では一部の集落に信仰の片鱗が認められるのみである。

【文責：市文化財保護協会】